

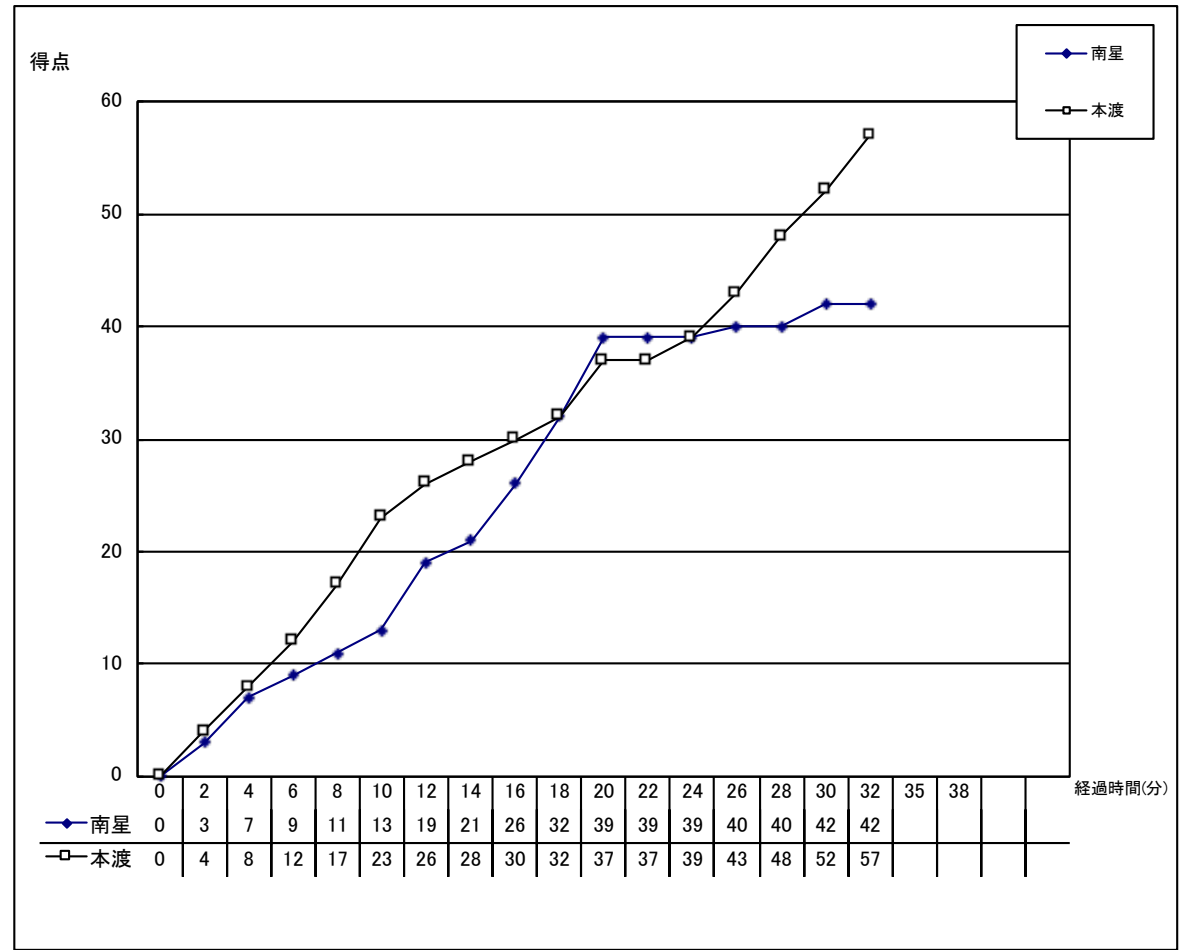
令和5年度 第53回九州中学校バスケットボール競技大会

個人データ表

女子 1回戦	令和5年8月8日	14:00 開始
会場： ナースパワーアリーナ	Bコート	第1試合
主審： 峰	副審： 東郷 穴見	
南星 42	11 1Q 17 15 2Q 13	57 ☆ 本渡 熊本
沖縄	13 3Q 9 3 4Q 18	

南星												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
○ 4	新垣 美千叶	5	1	5		7	2	6		2		2
○ 5	大城 友愛	19	3	8	5	9			2	2	1	3
6	山城 咲羽											
○ 7	平良 陽菜	3	1	4		3						
○ 8	比嘉 采音	11	1	4	3	9	2	2	2	2		2
9	大城 愛美香											
○ 10	新垣 結菜					2			2		1	1
11	金城 朱莉					2						
12	豊住 史帆	4			2	5		2	3		2	2
13	赤嶺 凜											
14	西原 都華											
15	友寄 星											
16	平良 歩の佳											
17	儀保 陽菜											
18	金城 りな											
コーチ	比嘉 拓											
合計		42	6	21	10	37	4	10	9	6	4	10
成功率			28.6%		27.0%		40.0%					

本渡												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
○ 4	谷山 颯	14		1	6	14	2	2	2	6	4	10
5	大塚 朋											
6	宮本 明奈											
7	金子 和叶											
○ 8	龍石 綺星	3		2	1	9	1	2		1	1	2
9	荒木 悠花											
○ 10	上口 凜華	13			6	12	1	2	2	2	2	4
○ 11	玉木 さくら	21	2	6	6	13	3	3	2	2		2
12	松下 莓											
13	山下 優莉			1					3	1		1
○ 14	川口 日香	6			3	6			1	4		4
15	倉田 真希											
16	山形 煌											
17	上嶋 利依紗											
18	田中 真央											
コーチ	端迫 亜伊											
合計		57	2	10	22	54	7	9	10	16	7	23
成功率			20.0%		40.7%		77.8%					



＜戦評＞

1Q: 南星中(沖縄県2位)対本渡中(熊本県1位)の対戦。南星はオールコートマンツーマンディフェンス、本渡はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタートする。本渡#4のジャンプシュートで試合が始まり、さらに#11、#14のシュートで本渡がリズムを掴む。南星は#5の3P、ドライブで応戦する。両チームドライブでオフェンスを展開するもシュートが決まらず、我慢の時間帯が続く。残り1分44秒、南星タイムアウトをとり、オールコートの強度を上げるが、本渡は#11のドライブで引き離す。その後、南星はシュートが決まらず、17-11本渡リードで1Q終了。

2Q: 本渡#4、#11のアウトサイドシュートが決まり、21-11。南星は#4のボールコントロールでオフェンスを組み立てるが、本渡#11から#13への合わせで突き離しにかかる。南星はシュートが決まらず、残り5分44秒で前半2回目のタイムアウト。その後#8の3P、#12がオフェンスリバウンドを頑張る、#4の3Pで23-19とする。しかし、本渡#11がバスケットカウント、フリースローを決める。南星はシュートがリングに嫌われ得点が伸びない。本渡は#11と#14のビッグプレー、南星は#4から#11への合わせのプレーで対抗する。南星は#4のボールコントロールから#12へのバックカットのプレーが決まり、#9から#5への合わせの3Pで、30-26とし本渡がリードをして2Q終了。

3Q: 南星#4から#7へのパスで3Pが決まり、ディフェンスのプレッシャーを強め、#8のジャンプシュートで30-31と逆転に成功する。本渡も#11がシュートを決め、本渡が再逆転。南星も#4の鋭いドライブでフリースローをもらい、32-32の同点。本渡は#13をコートに入れ立て直しを図る。本渡#4と#11が2on2から#4のドライブでファウルをもらい、フリースロー2本を確実に決め、34-32と逆転に成功。南星#5、本渡#11が3Pを入れあい、本渡リードのままゲームが進む。南星#8がドライブを仕掛け、フリースロー2本を確実に決め、その後互いにシュートが決まらず、3Q終了。

4Q: 本渡#11から#10への合わせで、本渡が2点リードする。南星は#4が1on1からシュートファウルを獲得するが、フリースローを2本沈めることができず点差が縮まらない。本渡は#11のドライブ、3Pで46-40とし、残り5分21秒南星後半1回目のタイムアウト。その後本渡#10のジャンプシュートで加点し、8点リードと突き離す。南星#8が本渡#11のオフェンスファウルを誘い、ディフェンスを頑張るが、流れは変わらない。本渡は#4のジャンプシュートが決まり、50-40とリードを広げる。残り3分09秒、南星が後半2回目のタイムアウトをとる。南星はオールコートディフェンスの強度を強めるが、アウトサイドシュートが決まらず、本渡#8のフェンスリバウンドからのシュートで54-42としたところで南星は最後のタイムアウトをとる。南星は最後までアウトサイドのシュートが入らず、#7、#8がオールコートディフェンスで頑張りをみせるが、本渡は落ち着いてボールを運び、57-42で試合終了。どちらが勝ってもおかしくない展開の中で、最後までお互い諦めず、ゲームを繰り広げた両チームを讃えたい。

戦評記入者 新川 清(熊本県バスケットボール協会U15部会)